

平成 29 年度岡山市市民協働推進モデル事業  
中間評価表

実施団体	中国デザイン専門学校		
協働部署	庭園都市推進課		
記入日	2017年8月23日		

1. 事業の目標と達成状況

目標	目標に対する現在の状況	今後の対応
トイレ整備：1か所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、対象となるトイレの候補を「南方公園」に絞り、使用許可に関する手続きを確認している。</li> <li>・行政関係者には事前の打診、依頼をしているため、手続きが確定次第、スムーズに着工に移る予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備が完了次第、南方町内会および愛護委員会に趣旨説明を行う機会をつくる。</li> <li>・行政管理部門へ使用許可申請を行う。</li> <li>・並行して学生と地域によるワークショップの調整を開始する。</li> <li>・景観維持のため、平成 32 年 3 月 31 日までの落書き等への対応は実施団体が担うことが決定した。</li> </ul>
利用者の満足度向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では実施していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会で利用者の声を聞く。</li> </ul>
報告会への参加人数：100人以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では実施していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会は平成 30 年 2 月に開催する。</li> <li>・次年度、3カ所以上への波及を目指して特に他地域の町内会や愛護委員会に参加してもらえるように働きかける。</li> <li>・料金やデザインなどのパッケージをつくり、町内会へ提示する。</li> </ul>
清掃活動への参加人数：50人以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では実施していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生と住民のワークショップを通じて、住民の主体性を引き出し、清掃活動への参加を促す。清掃活動は製作前に地元住民と行う。</li> </ul>
他地域での公共インフラ整備の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では普及活動をしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のとおり、次年度3カ所以上への波及を目指して特に他地域の町内会や愛護委員会に報告会へ参加してもらえるように働きかける。</li> <li>・町内会（愛護団体）からの協力金や寄付金の獲得につなげる。</li> </ul>

2. 協働の基本原則に基づくチェックリスト

協働の原則	チェック（できたものに☑）	指標（※指標の番号が大きくなるほど協働が進んでいる状態を表します。）
相互理解の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を明文化している
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を果たしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体のミッションを理解している（協働部署が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 岡山市（協働部署）の方針や計画を理解している（実施団体が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署のそれぞれの強みが発揮され、弱みが補われている。
目的共有の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が事業のスケジュールを把握している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署の双方の合意によって事業目標が決定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体と協働部署が事業の経過における成果・課題を共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況を共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況と現状とのギャップを整理・共有している。
対等の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 双方の合意によって役割分担が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体の意思・意見が尊重されている（実施団体が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 協働部署の意思・意見が尊重されている（協働部署が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体のみに役割や責任が集中していない（実施団体が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 協働部署のみに役割や責任が集中していない（協働部署が回答）。
自主性及び自立性尊重の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が積極的に意思表示をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業またはその他の意思決定において実施団体に不当に干渉されていない（協働部署が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業またはその他の意思決定において協働部署に不当に干渉されていない（実施団体が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業またはその他の意思決定において実施団体に依存されていない（協働部署が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業またはその他の意思決定において協働部署に依存されていない（実施団体が回答）。
公開の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署間で事業の進捗状況や予算の執行状況が随時共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 議事録やイベントごとの報告書が作成され、実施団体と協働部署で共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 必要に応じて実施団体と協働部署以外の第三者の助言を仰いでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業の案内が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業の結果が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。